

マハレ活動報告書

「マハレ山塊国立公園の近隣村落における自然教育への援助」

背景

マハレ山塊国立公園のあるタンザニア、キゴマ州ブヒング郡には、もともとマハレに居住していたトングウェの人々が、タンザニアの集住政策によって暮らしている村落が多い。国立公園はチンパンジーの観光で外貨を稼いでおり、その一部は地元の人々の教育や医療施設を作ることに使われてはいる。しかしながら、地元の人々の実感としてはまだまだそうしたインフラ整備は十分ではなく、国立公園や観光業者、そして研究者たちだけが利益を得ているのではないかといった声もちらほらと聞かれる。このように、地域住民が十分に医療や教育を受けられない状態では、地域に根ざした保全計画を実行していくのは難しいと思われる。

2008年活動内容

本年は、計画していた内容のうち、マハレ山塊国立公園にもっとも近いカトゥンビ村にあるカトゥンビ小学校にマダワティ（机と椅子がセットになったもの：右の写真参照）を整える活動をおこなった。カトゥンビ小学校は、日本大使館の援助によって建てられたが、その後タンザニア政府の援助はなく、約700人の生徒がいるにもかかわらず、マダワティは30個程度しかない。このため、生徒たちは教室の床に座って授業を受けている。今回はまず、全マダワティを100個にすることを目的として、マダワティ66個の作成に着手した。



マダワティ



マダワティ作成合意文書の取り交わしの様子：
左からキトベニ氏、サルム氏、ラジャブ氏、マク
ウェバ氏

事前に、カトゥンビ在住であるマハレ山塊チンパンジー研究プロジェクトのラシディ・キトベニ氏（氏自身の子どもたちもカトゥンビ小学校に通っている）を通じてカトゥンビ小学校にマダワティ66個作成のための必要経費の見積もりを作成してもらい、2008年9月28日に中村がカトゥンビ小学校を訪れ、現状を視察した後、キトベニ氏、カトゥンビ小学校運営委員長のモシ・サルム氏、カトゥンビ村長のジュマ・マクウェバ氏の同席のもと、カトゥンビ小学校校長のジュマ・ラジャブ氏とマダワティ作成に関する合意文書を取り交わした。

本プロジェクトでは、マダワティ作成以外に、ブヒング中学校に理科教育用の機材を寄贈する計画であったが、中村のタンザニア滞在中に一部の関係者が長期出張中であつたため、今年は必要な情報収集をするに留め、実行は来年以降におこなうこととした。

今後、こうした国立公園周辺の学校におけるインフラ整備をおこなうとともに、チンパンジーを初めとした野生動物の魅力と大切さを次世代を担う子どもたちに伝える努力を、現地の人々や行政と一丸になっておこなっていききたい。



カトゥンビ小学校

マハレ収支報告書

円会計

#	日付	項目	入金	出金	書類	備考
1	2008.6.13	JMC より振込み	1,900,000			
2	2008.7.29	ドルへ換金 (キャッシュ)		501,501	換金明細	ドル#1 へ
3	2008.7.29	ドルへ換金 (T/C)		498,244	換金明細	ドル#2 へ
4	2008.11.25	マハレ指定寄付 : JMC より振込み	70,000			
5		次年繰越金		970,255		
		合計	1,970,000	1,970,000		

US ドル会計(単位 \$)

#	日付	項目	入金	出金	書類	備考
1	2008.7.29	円から換金 (キャッシュ)	4,550			円#2 より
2	2008.7.29	円から換金 (T/C)	4,550			円#3 より
3	2008.8.15	ドルキャッシュを Tsh へ換金		4,550	換金明細	
4		次年繰越金		4,550		
		合計	9,100	9,100		

タンザニア・シリング会計(単位 Tsh)

#	日付	項目	入金	出金	書類	備考
1	2008.8.15	ドルから換金	5,278,000			\$ #3 より
2	2008.9.28	Madawati 作成費として		3,411,500	見積書・ 領収書	
3		次年繰越金		1,866,500		
		合計	5,278,000	5,278,000		